

2026年3月期 第3四半期決算

2026年1月29日
株式会社オリエンタルランド

I. 決算概要

II. 2026年3月期 業績の見通し

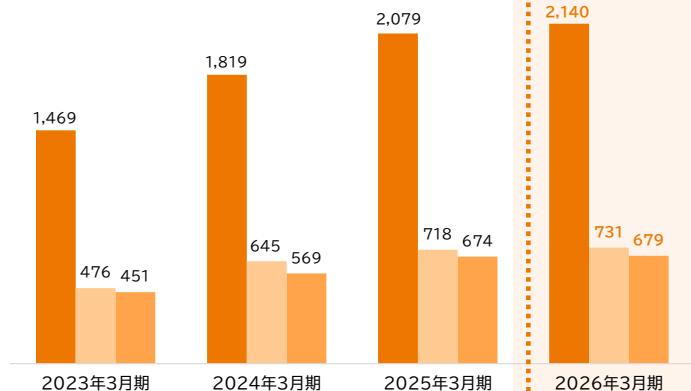
III. 今後の見通し

I. 決算概要

ファンタジースプリングスやスペシャルイベントの好調などにより、
連結売上高、営業利益、営業キャッシュ・フロー*共に、過去最高となつた

第3四半期の連結売上高、営業利益、営業キャッシュ・フローの推移

- 第3四半期連結売上高(億円)
- 第3四半期連結営業利益(億円)
- 第3四半期連結営業キャッシュ・フロー(億円)



*営業キャッシュ・フロー=親会社株主に帰属する四半期純利益+減価償却費

As to Disney Properties ©Disney



第3四半期(10-12月)実績 (経年同期比較)

第3四半期の売上高、営業利益、営業キャッシュフローの推移はご覧のとおりとなっており、
当四半期は過去最高となりました。

ファンタジースプリングスに加えて、
クリスマスなどのスペシャルイベントを活用し、高いゲスト1人当たり売上高などを実現しました。

ゲスト1人当たり売上高の増やホテル事業の増などにより、增收増益

(億円)

連結損益計算書	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	5,051	5,302	250	5.0%
テーマパーク事業	4,109	4,279	169	4.1%
ホテル事業	816	895	78	9.6%
その他の事業	125	127	2	1.9%
営業利益	1,349	1,414	64	4.8%
テーマパーク事業	1,096	1,099	3	0.3%
ホテル事業	236	298	62	26.6%
その他の事業	13	11	△ 1	△ 13.4%
経常利益	1,359	1,422	63	4.6%
特別利益	2	5	2	115.6%
税金等調整前四半期純利益	1,362	1,427	65	4.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	957	995	38	4.0%

第3四半期累計実績（前年同期比較）

第3四半期累計の実績は、ご覧の通りです。

前年同期と比較して、ゲスト1人当たり売上高の増やホテル事業の増などにより、增收増益となりました。

テーマパーク事業
売上高

入園者数は、前年同期とほぼ同様、
ゲスト1人当たり売上高は、各収入において過去最高となった

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	4,109	4,279	169	4.1%

入園者数はほぼ同様

- ファンタジースプリングスの好調による増
- スペシャルイベントの好調による増
- 前年同期のスペース・マウンテンなどのクローズ前需要による減



ディズニー・クリスマス「トイズ・ワンダラス・クリスマス！」

ゲスト1人当たり売上高は上回った

- アトラクション・ショー収入の増
- ディズニー・プレミアアクセスの増
- 変動価格制による高価格帯チケット構成比の増
- 商品販売収入の増
- ダッフィー＆フレンズ20周年関連商品の増
- スペシャルイベント関連商品の増
- ファンタジースプリングス関連商品の減
- 飲食販売収入の増
- 前年同期の休止店舗の再開による増

As to Disney Properties ©Disney

6

第3四半期累計実績（前年同期比較） - 主な増減要因

セグメント別の実績と増減要因をご説明します。

テーマパーク事業の売上高は、169億円増の4,279億円となりました。

入園者数は、前年同期とほぼ同様となりました。
前年同期はスペース・マウンテンなどのクローズ前需要があったものの、
当期はファンタジースプリングスやスペシャルイベントが好調でした。

ゲスト1人当たり売上高は、各収入において過去最高となりました。
アトラクション・ショー収入は、
ディズニー・プレミアアクセスの増や、
変動価格制による高価格帯構成比の増などにより、増加しました。

商品販売収入は、
ダッフィー＆フレンズ20周年関連商品の増や、
スペシャルイベント関連商品の増などにより増加しました。

飲食販売収入は、
前年同期の休止店舗の再開などにより、増加しました。

テーマパーク事業
営業利益

諸経費や人件費などが増加したものの、売上高の増などによりほぼ同様

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	4,109	4,279	169	4.1%
営業利益	1,096	1,099	3	0.3%

営業利益はほぼ同様

売上高の増
商品・飲食原価率の減
△ 13
人件費の増
△ 60
正社員人件費の増
△ 29
準社員人件費の増
△ 16
その他
△ 14

諸経費の増	(億円)
メンテナンス費の増	△ 23
システム関連費用の増	△ 20
租税公課の増	△ 13
その他	△ 14
減価償却費の増	△ 10
新規資産取得による増など	

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

7

第3四半期累計実績（前年同期比較） - 主な増減要因

テーマパーク事業の営業利益は、3億円増の1,099億円となりました。

商品・飲食原価率は、
飲食原価率が、セントラルキッチンの再開に伴う製造経費率の増などにより増加したものの、
商品原価率が、売上構成の変化による使用原価率の減などにより減少し、
全体として減少しました。

人件費は、
賃金改定や人数増などにより、増加しました。

諸経費は、
ファンタジースプリングスによるメンテナンス費の増や、
IT機器の入れ替えによるシステム関連費用の増などにより、増加しました。

減価償却費は、
ファンタジースプリングスの通期稼働などにより、増加しました。

ホテル事業

宿泊収入の増により、増収増益となり、売上高と営業利益は過去最高となつた

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	(億円) 増減率
売上高	816	895	78	9.6%
ディズニーホテル	749	822	73	9.8%
客室稼働率(%、pt)	95.4	94.0	△ 1.4	
平均客室単価(円)	64,112	69,839	5,727	8.9%
その他ホテル	67	72	5	7.5%
営業利益	236	298	62	26.6%

売上高の増

営業利益の増

- ・客室単価の増
- ・東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテルの通期稼働による増

- ・売上高の増

第3四半期累計実績（前年同期比較） – 主な増減要因

ホテル事業は、
東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテルの
客室単価の増や、通期稼働による増などにより、
売上高は、78億円増の895億円となりました。

当四半期累計の、ディズニーホテルの客室稼働率は、
バケーションパッケージ経由の予約の減により、1.4ポイント減の94.0%、
平均客室単価は、
5,727円増の69,839円でした。

営業利益は、売上高の増などにより、62億円増の298億円となりました。

他の事業

イクスピアリ事業などの売上高の増はあったものの、各コストの増により増収減益

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	(億円) 増減率
売上高	125	127	2	1.9%
営業利益	13	11	△ 1	△ 13.4%

売上高の増

- ・イクスピアリ事業の増
- ・モノレール事業の増

営業利益の減

- ・売上高の増
- ・人件費の増
- ・諸経費の増

第3四半期累計実績（前年同期比較） - 主な増減要因

他の事業は、
イクスピアリ事業などの増により、
売上高は2億円増の127億円、
営業利益は、1億円減の11億円となりました。

ゲスト1人当たり売上高の増や諸経費の減などにより、売上高および営業利益は業績予想を上回った

業績予想比較		主な増減要因
売上高	上回った	<ul style="list-style-type: none"> 入園者数: ほぼ同様 <ul style="list-style-type: none"> ファンタジースプリングスの好調による増 スペシャルイベントの好調による増 前年同期のスペース・マウンテンなどのクローズ前需要による減 ゲスト1人当たり売上高: 上回った <ul style="list-style-type: none"> アトラクション・ショー収入: ほぼ同様 商品販売収入: 上回った <ul style="list-style-type: none"> レギュラー商品の増 ダッフィー＆フレンズ20周年関連商品の増 飲食販売収入: 上回った <ul style="list-style-type: none"> 高単価店舗の利用構成比の増 フードスープニアの増
営業利益	上回った	<ul style="list-style-type: none"> 諸経費の減 売上高の増

10

第3四半期累計実績（業績予想比較） – 主な増減要因

業績予想と比較すると、ゲスト1人当たり売上高の増や諸経費の減などにより、売上高、営業利益ともに業績予想を上回りました。

入園者数は、
前年同期のスペース・マウンテンなどのクローズ前需要による減があったものの、
ファンタジースプリングスやスペシャルイベントの好調などにより、ほぼ同様となりました。

ゲスト1人当たり売上高は、
レギュラー商品の増などによる商品販売収入の増や、
高単価店舗の利用構成比の増などによる飲食販売収入の増により、
全体としては上回りました。

営業利益は、
諸経費の減や、売上高の増などにより、上回りました。

II. 2026年3月期 業績の見通し

第3四半期累計の営業利益は業績予想と比較して上回ったものの、
費用の時期ずれや天候リスクなどを踏まえ、現時点では業績予想を据え置くこととする

第4四半期実施の施策例



東京ディズニーランド®「ディズニー・パルパルーザ」第5弾「ミニーのファンダーランド」



東京ディズニーシー®新規ショー「ダンス・ザ・グローブ！」

As to Disney Properties ©Disney

12

2026年3月期 業績の見通し

第3四半期累計の営業利益は業績予想と比較して上回ったものの、
費用の時期ずれや天候リスクなどを踏まえ、現時点では業績予想を据え置きます。

1月14日から

「ディズニー・パルパルーザ」の「ミニーのファンダーランド」や、
東京ディズニーシーの新たなエンターテイメント「ダンス・ザ・グローブ！」が開始しており、
ゲストにご好評いただいています。

施策の着実な実施と、コストコントロールの継続により、
引き続き、業績向上に努めてまいります。

Ⅲ. 今後の見通し

東京ディズニーシー25周年により、需要を喚起しながら
将来に向けた環境整備も着実におこなっていく

東京ディズニーシー25周年



ディズニーホテルの客室修繕工事



コストの増加への対応



- 「ジュビリーブルー」をテーマカラーに、祝祭感に包まれた一年を盛り上げていく
- 大・小様々なエンターテイメントプログラムやスペシャルコンテンツを展開

- 一部ディズニーホテルで客室修繕工事を実施
(例)東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ
2026年8月19日～2027年7月20日
- 一定数、販売できない客室が発生する見込み

- 物価高騰によるコストの増加が見込まれるもの、影響を最小限に抑えるため、今後もコストコントロールを推進していく方針
- 人的資本への投資を継続
- ホテルの客室修繕工事による修繕費の発生

As to Disney Properties ©Disney

14

2026年度の東京ディズニーリゾートの環境

2026年度の予算については、現在精査中ではありますが、来期の東京ディズニーリゾートの環境を十分に考慮し、策定をしていく考えです。そのため、現時点で見えている、業績に影響を与える要素をお伝えします。

まずは、2026年4月より通年で開催される、東京ディズニーシー25周年イベントです。大・小様々なエンターテイメントプログラムやスペシャルコンテンツを展開し、ゲストの体験価値向上を図ります。

このほか、一部ディズニーホテルの客室修繕工事をおこないます。例えば、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタについては、10年ぶりの大規模な修繕工事となります。今後も高い体験価値を維持し続けることを念頭に置き、将来に向けた環境整備をおこなっていきます。

さらに、物価高騰や人的資本投資の継続など、コストの増加傾向は引き続くと考えていますが、コストコントロールの推進により、増加幅の抑制に努めています。

『シュガー・ラッシュ』の世界を舞台としたアトラクションは、2027年春に開業予定
トゥモローランドのリニューアルにより、パークの体験価値を更に高めていく

『シュガー・ラッシュ』の世界を舞台としたアトラクション

2026年度以降 → **2027年春 開業予定**



投資額 約295億円

スペース・マウンテンと周辺エリアの一新

2027年 開業予定



投資額 約705億円

As to Disney Properties ©Disney

15

東京ディズニーランド「トゥモローランド」エリアの再開発について

この度、『シュガー・ラッシュ』の世界を舞台としたアトラクションは、
2027年春に開業できる見通しとなりました。

同年には、同じエリアで、スペース・マウンテンの開業と周辺エリアが一新されることで、
東京ディズニーランドの「トゥモローランド」エリアが大幅に刷新され、
まったく新しい体験をお届けできるようになる予定です。

どうぞご期待ください。

多様なゲストニーズに応じた、更なる選択肢の提供を進めていく

▼今後の方針性



- パークの体験価値やゲストの需要動向などを踏まえた適正価格の設定
- 現在の価格帯での構成比の変更や、価格帯自体の変更も視野に検討



- ディズニー・プレミアアクセスの対象施設の拡大や適正価格を検討
- ディズニー・プレミアアクセスを来園前に購入できるサービスを導入
(パーク内での利用開始は2027年予定)

As to Disney Properties ©Disney

16

更なる選択肢の提供

当社は、従来より、
多様なニーズに応えられる様々な選択肢を検討してきました。

現時点で詳細についてはお伝えできないものの、
チケット価格戦略や、ディズニー・プレミアアクセスのサービスの拡充など、
様々な方向性で検討しており、着実に進捗させております。

ディズニー・プレミアアクセスについては、対象施設の拡大や適正価格を検討します。
加えて、来園前に購入できるサービスを2027年に導入予定です。
ゲストはより計画的にパークを楽しめるようになります。
導入まで、もうしばしあ待ちいただけたらと存じます。

今後も魅力的なパークをベースに、
様々な施策に優先順位をつけながら、よりゲストの選択肢を増やし、
多様なゲストニーズに応えられるパークを作っていくます。

Appendix

「ディズニー・プレミアアクセス」の対象

パーク内施設等の体験時間や入場時刻を指定して予約できる有料のサービス。少ない待ち時間で施設の利用が可能

東京ディズニーランド アトラクション	導入日	価格	東京ディズニーランド エンターテイメント	導入日	価格
美女と野獣“魔法のものがたり”	2022年5月19日	¥2,000	ディズニー・ハーモニー・イン・カラー	2023年4月15日	¥2,500
スプラッシュ・マウンテン	2022年12月1日	¥1,500	東京ディズニーランド・エレクトリカルパレード・ドリームライツ	2023年4月15日	¥2,500
ペイマックスのハッピーライド	2022年12月1日	¥1,500	Reach for the Stars	2024年9月20日	¥2,500
			ミッキーのマジカルミュージックワールド	2024年11月13日	¥2,500
			クラブマウスピート	2024年11月13日 ^{*1}	¥2,500
			ディズニー・パルパルーザ クワッキーセレブレーション★ ドナルド・ザ・レジェンド！	終了	2025年4月8日 ^{*2} ¥2,500
			ザ・ヴィランズ・ハロウィーン “Into the Frenzy”	終了	2025年9月17日 ^{*3} ¥2,500
			トイズ・ワンダラス・クリスマス！	終了	2025年11月11日 ^{*4} ¥2,500
			ディズニー・パルパルーザ ミニー@ファンターランド	2026年1月14日 ^{*5}	¥2,500

※2026年1月29日時点で公表しているものを記載しています。

*1 2026年3月30日で終了予定です。

*2 2025年4月8日～6月30日の間、対象でした。

*3 2025年9月17日～10月31日の間、対象でした。

*4 2025年11月11日～12月25日の間、対象でした。

*5 2026年1月14日～3月2日の間、対象です。

「ディズニー・プレミアアクセス」の対象

パーク内施設等の体験時間や入場時刻を指定して予約できる有料のサービス。少ない待ち時間で施設の利用が可能

東京ディズニーシー アトラクション	導入日	価格	東京ディズニーシー エンターテイメント	導入日	価格
ソアリン:ファンタスティック・フライト	2022年5月19日	¥2,000	ビリーヴ！～シー・オブ・ドリームス～	2022年11月11日	¥2,500
トイ・ストーリー・マニア！	2022年6月10日	¥2,000	ピッグバンドビート ～ア・スペシャルトリート～	終了	2024年11月13日*1
タワー・オブ・テラー	2022年12月9日	¥1,500	ドックサイド・スプラッシュ・リミックス	終了	2025年7月2日*2
センター・オブ・ジ・アース	2022年12月9日	¥1,500	ドリームス・テイク・フライト	2025年7月16日	¥2,500
アナとエルサのフローズンジャーニー	2024年6月6日	¥2,000	ダンス・ザ・グローブ！	2026年1月14日*3	¥2,500
ラブンツエルのランタンフェスティバル	2024年6月6日	¥2,000			
ピーターパンのネバーランドアドベンチャー	2024年6月6日	¥2,000			

※2026年1月29日時点で公表しているものを記載しています。

*1 2025年9月30日で終了しました。

*2 2025年7月2日～9月15日の間、対象でした。

*3 2026年1月14日～2027年3月31日の間、対象です。(予定)

指定された時間に短い待ち時間で施設をご利用いただける無料のサービス

東京ディズニーランド アトラクション

スター・ツアーズ:ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー

ピッグサンダー・マウンテン

プーさんのハニーハント

ホーンテッドマンション

モンスターズ・インク“ライド＆ゴーシーク！”

東京ディズニーシー アトラクション

アクアトピア“びしょ濡れ”バージョン*

終了

インディ・ジョーンズ・アドベンチャー:クリスタルスカルの魔宮

海底2万マイル

タートル・トーク

ニモ＆フレンズ・シーライダー

マジックランプシアター

レイジングスピリッツ

※2026年1月29日時点で公表しているものを記載しています。

* 2025年7月2日～9月30日の間、対象でした。

2026年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東京ディズニーランド												
★ 1/15~6/30 NEW イッツ・ア・スマールワールド with グルート									★ 2025/12/27~2026/6/28 イッツ・ア・スマールワールド with グルート			
★ 4/8~6/30 NEW 「ディズニー・パルパルーザ」第4弾 「ドナルドのクワッキー・ダック！ダック！ダックシティ！」					★ 9/17~10/31 「ディズニー・ハロウィーン」				★ 1/1~1/12 お正月のスペシャルイベント			
★ 4/8~6/30 NEW 「スター・ツアーズ:ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー」スペシャルバージョン		★ 7/2~9/15 NEW 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」				★ 11/11~12/25 NEW 「ディズニー・クリスマス」			★ 1/14~3/2 「ディズニー・パルパルーザ」第5弾 「ミニーのファンダーランド」			
★ 2025/4/8~2026/3/19 NEW 「ダッフィー&フレンズ20周年:カラフルハピネス」												
東京ディズニーシー												
★ 4/8~6/30 「東京ディズニーシー・フード&ワイン・フェスティバル」 「ドリームス・ティク・フライト」(ハンガーステージ新規ショー)		◆ 7/16~ NEW 「We Love ビックバンドヒート」			★ 7/1~9/30 NEW 「We Love ビックバンドヒート」			★ 11/11~12/25 「ディズニー・クリスマス」		★ 1/14~3/19 「ディズニーストーリービヨンド」		
★ 1/14~4/6 タワー・オブ・テラー: Level13				★ 7/2~9/15 NEW 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」	★ 9/17~10/31 「ディズニー・ハロウィーン」				◆ 1/14~ NEW 「ダンス・ザ・グローブ！」 (ウォーターフロントパーク新規ショー)			
				★ 9/17~11/2 NEW 「ラソス・デ・ラ・ファミリア」				★ 1/1~1/12 お正月のスペシャルイベント		★ 1/13~3/31 タワー・オブ・テラー“アンリミテッド”		

※イベントの名称、開催期間は変更になる場合があります。※2026年1月29日時点で公表しているものを記載しています。

★ スペシャルイベント・プログラム

◆ 新規アトラクション・ショーなど

2027年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京ディズニーランド											
★ 2025/12/27~2026/6/28 イツツ・ア・スマールワールド with グルート			★ 7/2~9/14 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」		★ 9/16~10/31 「ディズニー・ハロウィーン」		★ 11/11~12/25 「ディズニー・クリスマス」				
★ 4/9~6/30 「ディズニー・パルパルーザ」第6弾 「ヴァネロペのスウィーツ・ポップ・ワールド」			★ 7/2~9/14 NEW 「ファンタイム・ウイズ・トイ・ストーリー5」					★ 1/1~1/11 お正月のスペシャルイベント			
東京ディズニーシー			★ 2026/4/15~2027/3/31 NEW 「東京ディズニーシー25周年 “スパークリング・ジュビリー”」								
			★ 4/15~6/30 「東京ディズニーシー・フード&ワイン・フェスティバル」		★ 7/2~9/14 NEW 「ファンタイム・ウイズ・トイ・ストーリー5」		★ 9/16~10/31 「ディズニー・ハロウィーン」	★ 11/11~12/25 「ディズニー・クリスマス」			
					★ 7/2~9/14 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」		★ 9/16~11/2 「ラソス・デ・ラ・ファミリア」		★ 1/1~1/11 お正月のスペシャルイベント		

※イベントの名称、開催期間は変更になる場合があります。※2026年1月29日時点で公表しているものを記載しています。

★ スペシャルイベント・プログラム ◆ 新規アトラクション・ショーなど

連結貸借対照表（当四半期末/前期末）

連結貸借対照表

	前期末	当四半期末	増減
A. 資産の部			
流動資産	5,253	6,463	1,209
固定資産	9,131	9,404	272
資産合計	14,385	15,868	1,482
B. 負債の部			
流動負債	2,358	1,840	△ 518
固定負債	2,252	3,272	1,020
負債合計	4,611	5,112	501
C. 純資産の部			
株主資本	9,610	10,398	787
その他の包括利益累計額	163	357	193
純資産合計	9,774	10,755	981
負債純資産合計	14,385	15,868	1,482

【A. 資産の部 1,482億円の増(10.3%増)】

I. 流動資産 1,209億円の増	
(1) 現金及び預金の増	1,255 億円
(2) 有価証券の減	△200 億円

【II. 固定資産 272億円の増

(1) 設備投資による増	557 億円
(2) 投資有価証券・その他の増	216 億円
(3) 減価償却による減	△496 億円

【B. 負債の部 501億円の増(10.9%増)】

I. 流動負債 518億円の減	
(1) 1年内償還予定の社債の減	△200 億円
(2) その他(主に未払金)の減	△186 億円
(3) 未払法人税等の減	△127 億円

【II. 固定負債 1,020億円の増

(1) 社債の増	800 億円
(2) その他(主に繰延税金負債)の増	116 億円

【C. 純資産の部 981億円の増(10.0%増)】

I. 株主資本 787億円の増	
(1) 利益剰余金の増	766 億円
・親会社株主に帰属する四半期純利益による増	995 億円
・配当による減	△229 億円

【II. その他の包括利益累計額 193億円の増

(1) 繰延ヘッジ損益の増	151 儻円
(2) その他有価証券評価差額金の増	43 儻円



株式会社オリエンタルランド コーポレートコミュニケーション部IRグループ
www.olc.co.jp

注意事項:

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

データパーク入園者数、ゲスト1人当たり売上高については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。
本資料の転載はご遠慮ください。